

冬でも木は枯れてゐないこも、もうこんな立派な葉を用意してゐるこもを葉の落ちたあみをみたのを思ひ出させ乍

手 技

第一週

自由畫 一回

ぬりゑ 一回

フクジュサウ

お正月の鉢植の福壽草があれば實物を見てぬらせる

製作 カレンダー

用紙は畫用紙でも、模造紙でもよい。又カレンダーの作り方も、日めくりでもよいし、月カレンダーでもよい。

幼児一人／＼の所有になるやうに、各自に一つ宛させてもよいし、又お部屋用の一つ作つてもよい。

1より31までの數字を一枚に一つ宛かいてその一枚一枚に數字をよけて自由畫をかゝせる。各自が一つづゝのカレンダーを作るこきは普通のカレンダーの大ききでよいの

ら觀察させる。種々な木の芽について比較する。自然のたゆみなき營みを觀察させ度い。

であるが、お部屋に一つ吊す様にするには一枚の紙の大きさは畫用紙十六切位の大ききにするこよい。そしてそれは一枚一枚めくらないで後へはねのけておく様につくる。1から12までのものを一／＼りこし、又1より31までを一／＼りこして、二／＼並らべて前者は月をあらはし、後者は日をあらはすこもゝする。

第二週

自由畫 動物

参考用として、動物の寫眞、動物畫なき保育室に用意してよくこれを觀察させる。幼児の自由に種々の動物をかゝせて見る。

ぬりゑ ウメノモヤウ

ウメノモヤウは色を自由にぬらせる。

製作 双六 三回

双六は花づくしでもよいし、動物づくしでも、乗物づくしでもよい。準備として自由畫で双六にするものをかゝせて見なければならぬ。年少組であるに誰れでも何でもの畫を充分にかくさいふところまでゆかないかもしれないから一組の幼児のかいたものからましまつたものより出して一枚の双六にする位である。たまへば動物双六をつくるにするに一組の幼児が皆でいろいろの動物をかく、その中から象は象であつめ虎は虎であつめておく。その象だけ切りぬいて集め、虎だけ切りぬいて集めたものを一つの輪廓の中におさめて大きな臺紙にはりつける。動物の種類を集つただけ四方にならべる。

第三週

缺仕事 水仙

水仙の花を花瓶にさして保育室におく。花は白い模造紙

でもよいが、水色の模造紙を裏かへしにしてはつてもよい。花瓣が六つに分れてゐるのなごはよく觀察させてつくらせる。

製作 旅行用トランク

洋服のあき箱などの大きなボールの空箱を利用してつくる。さげるところだけ手をつけレットルなごはるに面白。一組に二三個出来ればよいのである。

第四週

自由畫 汽車 二回

誘導保育案による旅行ごっこ遊びをするので汽車の觀察を充分にしておいて(繪本)汽車の繪をかゝせる。

缺仕事、切符 二回

赤、青、白の切符を數十枚切つて、驛名を片假名でかゝせる。

粘土 自在 一回